

分類：医療・社会・行動科学Ⅰ

授業科目名：医療行動科学（Medical behavioral science） - 医師・医療者、患者・家族の行動科学と適切な対応を学んでこれからの

対象学年：1年次必修

時間割コード：71583001

開設学期等：第1週～第13週（毎週火曜日3-10時限）

単位数：3

1. 主任教員

長谷川 仁志（教授、医学教育学講座、6097）

2. 担当教員

長谷川 仁志（教授、医学教育学講座、6097）

伊藤 登茂子（教授、保健学専攻 看護学講座）

吉川 聖美（、附属病院 教育担当看護師長）

芦田 ルリ（非常勤講師、東京慈恵会医科大学 医学部 教授）

中澤 操（非常勤講師、秋田県立リハビリテーション 副病院長）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい

すべての医師は、身体的な病態を科学的に捉えると同時に、プロとしてその心や行動についても十分に理解して対応するスキルを修得することで、患者・家族や医療者と良好なコミュニケーションを実現し、病気の予後改善や理想的な医療につながる体制を構築していく必要があります。そのためには、医学生として1年次早期から医師・医療者、患者・家族等に関する医療行動科学を学修することを開始し、6年間でそれを実践できるような意識を持つことが重要です。

本講義では、多くの事例ベースからなる腹痛患者さんへの医療面接・臨床推論の講義と演習、看護演習・看護実習、早期臨床実習から、医師・患者・家族（さらには医師-医療従事者）間の関係を良好にして、医療を充実するための医療行動科学について、様々な観点からの基本事項を実践的に学び、これからの6年間の学修につなげます。ここでは、基礎医学、社会医学、臨床医学の統合学修の重要性も理解することになります。

また、並行して、肺の聴診、心エコー・腹部エコー学修・演習を行うことによっても基礎医学と臨床医学の（学年を超えた）垂直統合学修の重要性を学びます。

これら医療行動科学科目期間の学修内容は、1年次前期の初年次ゼミから引き続き6年間シームレスに学ぶべきプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての実践的な理解も目標としています。

学修目標

1．医療面接における腹痛の臨床推論、医療面接コミュニケーションスキルの基本を実践的に修得するとともに、基礎医学、社会医学、臨床医学、医療行動科学各分野と水平・垂直統合しながら自ら積極的に学んでいく意義を理解する。

2．看護演習、看護実習により、チーム医療、多職種連携の重要性および患者さんの心身のケア、医療安全・患者安全についての理解を深める。

3．大学・県内の病院など地域医療・医療連携の一線現場における医師の診療活動、患者・医師関係、チーム医療について現場で見学実習することにより、医師の使命・チーム医療のリーダーとしてあるべき姿・プロフェッショナルリズムを実感するとともに、患者さん・ご家族や医療者の皆さんとのコミュニケーション、医の倫理、医療安全の重要性を理解する。

4．卒後臨床研修で重要な心エコー・腹部エコーの基本画像を実践的に描出することにより、臨床における心臓と腹部臓器の重要ポイントを理解し、2年生の解剖学をはじめとする基礎医学学修やその後の臨床医学学修に結びつける。

5．上記1から4の過程で、【1年次医療行動科学】として以下の事項等の全体概要を学び、今後の各分野6年間の継続的な学修へと結びつける。

【1年次医療行動科学】

1) 医師と患者：行動変容、各種バイアス、 (1) 医療面接の行動科学：コミュニケーションスキル (2) 共感 (パートナーシップ、敬意) (3) 悪い知らせを知らせる (4) 困難な患者・難しい状況 (5) マインドフルな診療 (6) EBMとインフォームドコンセント

2) 特定の集団への対応 (1) 家族・子育て・医学的な問題や症状に関して家族が感じている困難さをスクリーニングする・危険信号を出している問題・医師—患者—家族の問題をスクリーニングする (2) 小児・過剰なストレス・医師—子供—親の三角関係・いじめ (3) 高齢者・高齢者とのコミュニケーションにおける配慮 (4) 異文化コミュニケーション (5) チーム医療・医師のチーム、診療科を超えたチーム医療、多職種連携チーム医療

3) 健康関連行動 (1) 患者のアドヒアランスノンアドヒアランスの原因 (医療者側の原因、患者側の原因) (2) ストレスと疾患・消化器疾患、心血管疾患

4. 教科書・参考書

○教科書

1. 臨床推論集中講義 胸痛 (メディカルビュー社)
2. 日常診療に役立つ行動医学・心身アプローチ (医歯薬出版)
3. そのまま使える病院英語表現 5000 (医学書院)
4. 賢い患者 (岩波新書)
5. 医師・医学生のための人類学・社会学 臨床症例 / 事例で学ぶ (ナカニシヤ出版)

○以下は、推奨図書

6. 内科診断学 (医学書院)
7. 内科学 (朝倉書店)
8. 人体の正常構造と機能 (日本医事新報社)

5. 成績評価の方法

1. パフォーマンス評価

腹痛医療面接 OSCE (客観的臨床実技試験) 日本語・英語

心エコー・腹部エコー・肺の聴診 OSCE (客観的臨床実技試験)

早期臨床実習ポートフォリオ、腹痛鑑別診断のスライド・発表原稿等の提出課題内容

2. 態度評価

出席状況、学修・実習・演習態度、アンプロフェッショナルな態度の有無

提出課題内容

3. 知識の評価

統一試験

上記の1, 2が不良の場合には、本科目の講義と実習の履修終了とみなされないため、3統一試験の受験資格が認められなくなります。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1 学期初年次ゼミの医療面接コミュニケーションスキル、医療安全、医療行動学について復習してくること。

1 学期のうちに、実習のドレスコードにあるケシの白衣を準備すること (クラスで共同購入等)。初めの週から、看護演習・看護実習と病院での実習があります。臨床現場における頭髪、身なりは十分に配慮してください。

本科目は「秋田大学 COC キャリア認証プログラム」に定める「地域志向科目」である。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	9月27日 (火)	3-10 時限	演習	テーマ：オリエンテーション、看護演習・実習説明 オリエンテーション 後期授業説明 看護演習・実習説明 医療行動科学の概要	長谷川仁志 伊藤 登 茂子 吉川 聖美	基礎講義棟 1 階第 1 講 義室
2	9月28日 (水)	1-10 時限	実習	テーマ：看護演習 医療安全・患者安全に配慮した看護の基本技術について実践的に学び、演習します。	長谷川仁志 伊藤 登 茂子	保健学科
3	9月29日 (木)	1-10 時限	実習	テーマ：A クラス 看護実習 A クラス：看護実習 附属病院各病棟で、担当看護師さんとともに医療安全・患者安全に配慮した看護実習を 1 日行います。 B:後期授業と学び方ガイド（その後、各グループ代表の心エコー・腹部エコー演習）	長谷川仁志 吉川 聖美	A クラス 附属病院、 B クラス基 礎講義棟 1 階第 1 講義 室およびシ ミュレー ション教育 センター
4	9月30日 (金)	1-10 時限	実習	テーマ：B クラス 看護実習 B クラス：看護実習 附属病院各病棟で、担当看護師さんとともに医療安全・患者安全に配慮した看護実習を 1 日行います。 A:後期授業と学び方ガイド（その後、各グループ代表の心エコー・腹部エコー演習）	長谷川仁志	B クラス 附属病院、 A クラス基 礎講義棟 1 階第 1 講義 室およびシ ミュレー ション教育 センター
5	10月4日 (火)	3-10 時限	実習	テーマ：医療行動科学 A クラス：早期臨床実習 1 日目（大学病院各科・県内医療機関での実習） B クラス：1）医療行動科学 事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 2）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習	長谷川仁志 吉川 聖美	A クラス： 附属病院各 診療科、県 内医療機 関、B クラ ス：基礎講 義棟 1 階第 1 講義室お よびシミュ レーション 教育セ ンター
6	10月 11日 (火)	3-10 時限	実習	テーマ：医療行動科学 B クラス：早期臨床実習 1 日目（大学病院各科・県内医療機関での実習） A クラス：1）医療行動科学 事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 2）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習	長谷川仁志	B クラス： 附属病院各 診療科、県 内医療機 関、A クラ ス：基礎講 義棟 1 階第 1 講義室お よびシミュ レーション 教育セ ンター

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
7	10月18日 (火)	3-10 時限	実習	テーマ：医療行動科学 A クラス：早期臨床実習 2 日目（大学病院各科・県内医療機関での実習） B クラス：1）医療行動科学 事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 2）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習	長谷川仁志	A クラス：附属病院各診療科、県内医療機関、B クラス：基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センター
8	10月25日 (火)	3-10 時限	実習	テーマ：医療行動科学 B クラス：早期臨床実習 2 日目（大学病院各科・県内医療機関での実習） A クラス：1）医療行動科学 事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 2）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習	長谷川仁志	B クラス：附属病院各診療科、県内医療機関、A クラス：基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センター
9	11月1日 (火)	3-10 時限	実習	テーマ：医療行動科学 A クラス：早期臨床実習 3 日目（大学病院各科・県内医療機関での実習） B クラス：1）医療行動科学 事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 2）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習 3）特別講義	長谷川仁志 中澤 操	A クラス：附属病院各診療科、県内医療機関、B クラス：基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センター
10	11月8日 (火)	3-10 時限	全体討議	テーマ：医療行動科学 B クラス：早期臨床実習 3 日目（大学病院各科・県内医療機関での実習） A クラス：1）医療行動科学 事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 2）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習 3）特別講義 1）医療行動科学 事例ベースの腹痛臨床推論・医療面接スキルの学修・演習過程で医療行動科学の基本を学修します。同時にプロフェッショナルリズム、医の倫理、医療安全、EBM、医療制度についての学びをはじめます。 2）臨床ポイントと基礎医学の統合心エコー・腹部エコー・肺の聴診エコー演習 3）特別講義	長谷川仁志	B クラス：附属病院各診療科、県内医療機関、A クラス：基礎講義棟 1 階第 1 講義室およびシミュレーション教育センター

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
11	11月 15日 (火)	3-10 時限	試験	テーマ：臨床実習経験発表会 チーム医療実習総括学習、特別講義（英語医療面接）	長谷川仁志 芦田 ルリ	基礎講義棟 1階第1講義室
12	11月 22日 (火)	3-10 時限	試験	テーマ：臨床実習経験発表会、OSCE 演習 チーム医療実習総括学習、OSCE 演習	長谷川仁志	基礎講義棟 1階第1講義室および 学生実習棟 2階チュートリアル 室、シミュレーション 教育センター
13	12月6日 (火)	3-10 時限	試験	テーマ：腹痛 医療面接 OSCE 日本語 および 心エコー OSCE 客観的臨床能力試験：OSCE 医療面接（日本語）および心エコー OSCE	長谷川仁志	基礎講義棟 1階第1講義室および 学生実習棟 2階チュートリアル室
14	12月 13日 (火)	3-10 時限	グループ 学習	テーマ：腹痛 医療面接 OSCE 英語 および 腹部エコー OSCE 客観的臨床能力試験：OSCE 医療面接（英語）および腹部エコー OSCE	長谷川仁志	基礎講義棟 1階第1講義室および 学生実習棟 2階チュートリアル室
15	12月 20日 (火)	3-10 時限	その他	テーマ：医療行動科学 2学期のまとめ、OSCE 追試験 医療行動科学 2学期のまとめ その後 OSCE 追試験	長谷川仁志	基礎講義棟 1階第1講義室および シミュレーション教育 センター